

産業保健における労働者のプライバシーと個人情報の取扱い

永野 千景：産業医科大学 産業保健管理学研究室 講師
堀江 正知：産業医科大学 産業保健管理学研究室 教授
森口 修逸：株式会社エム・ピー・オー 代表取締役

目次

I. 労働安全衛生法に基づく健康情報の取扱い

1. 労働安全衛生法に基づく健康情報の利用
 - 1) 労働衛生における結核健康診断
 - 2) 労働衛生における循環器疾患の予防
 - 3) 労働者の受診義務
 - 4) 事業者による健康診断結果の利用
 - 5) 事業者による面接指導結果の利用
 - 6) 健康保険組合による健康診断結果の利用
2. 労働安全衛生法に基づく健康情報の保護
 - 1) 法定健康診断に関する守秘義務
 - 2) 個人情報保護に関する労働衛生行政指針

II. 個人情報保護の法令

1. 一人で放っておいてもらう権利
2. 旧 OECD プライバシーガイドライン
3. EU データ保護指令
4. 個人情報保護法
5. 新 OECD プライバシーガイドライン
6. EU 一般データ保護規則 (GDPR)
7. 平成 27 年改正法
8. 令和 2 年改正法
 - 1) 3 年ごと見直し
 - 2) 個人情報保護制度の精緻化

9. 個人情報保護法関連ガイドライン
 - 1) 仮名加工情報
 - 2) 個人関連情報（メタデータ）
 - 3) 個人情報保護委員会への報告義務
 - 4) 不適正な利用
 - 5) プロファイリング
 - 6) 適用除外
 - 7) 医療介護事業者ガイダンス
 - 8) 健康保険組合ガイダンス
10. 令和3年改正法
 - 1) デジタル社会形成整備法
 - 2) 官民一元化
 - 3) 学術研究適用除外の見直し
11. プライバシー及び個人情報保護法制の経緯

Ⅲ. 個人情報保護の規格

1. プライバシーマーク（P マーク）
2. 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）
3. ISMS の実際
4. 最高プライバシー責任者（CPO）とデータ保護責任者（DPO）

Ⅳ. 産業保健分野における個人情報の取扱い

1. 国際標準としての職場における健康情報の取扱い
2. 職場における健康情報の不適切な取扱い
3. 職場における健康情報の安全管理措置（セキュリティ対策）
4. 職場における健康情報の取扱いにおける本人同意
5. 職場で健康情報を取り扱う目的
6. 職場における健康情報の取扱いに関する規程の整備
7. 健康情報のうち仮名加工情報や匿名加工情報の取扱い
8. 個別事例での健康情報の取扱い
9. デジタル化に向けた課題